



寺市1
野0
清る1
宝あ小

住居 東京都あきる野市小川一〇一
電話 〇四二一五五八一二六六三
〇四二一五五八一二六九三
管理 石井 前塚
寺務所 住職 伊藤 勝之
所長

新年あけましておめでとう御座います

謹んで新春のご挨拶を申し上げ、ご家族皆様のご健勝とご多幸を祈念致します。

当山では、昨年、立教開宗七五〇年及び、当山第二十五世師父日延上人第七回忌記念事業として境内環境整備及び施設拡充のため、計画した諸事業の内、休憩所・東屋・造成工事が完成致しました。今年、最後に残された、「客殿」の建設に尽力する覚悟しております。昨年の十二月初旬に着工した建設工事は、今年、六月末日完成の予定に成っております。当山檀家・信徒・橋墓苑使用の皆様には、その間、ご不便をお掛け致しますが、今暫く、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

仏典六と虎

〔法隆寺の玉虫厨子と虎の話〕

今年が虎年です。日本で虎の出でくる最古の文献は欽明天皇の六年（五四五年）、膳臣巴堤が百濟に行き虎を退治してその皮をはぎ持ち帰った、と「日本書紀」に記されているのが最初です。虎年にちなんで、虎と仏典のかかわりはどのようなものであったのか、紹介致します。

「金光明経」というお経に次のような話があります。この物語は法隆寺の玉虫厨子に描かれていました。ある時王さまと共に三人の王子が林の園でわたわわていました。王子達は遊んでいるうちに深い竹の林の中に入ってしまった。王子たちが林の中を歩きまわっていると七匹の子をも

客殿建設工事着工

当山東側造成工事もおかげさまで完成し、客殿建築の確認も下り、昨年十一月より客殿建設工事も開始されました。当初の計画より大変遅れましたが、地元の五光建設と契約、融資の手続きも順調に済ませることが出来ました。

工期は着工から七ヶ月との五光建設との契約でしたが、掘始めてみると以前畑であり水路であった部分を埋立したのですが、その時の業者の建築廃材や冷蔵庫等の粗大ゴミを埋めてあったので、それをすべて掘り起こし、地盤を改良するという思いがけない問題が起こりました。その関係で、完成は六月末頃になりそうです。今しばらくご協力をお願い致します。

つ雌の虎が飢えて苦しみ横たわっていました。その苦しそうな虎の様子をみて、第三の王子が「かわいそうなの虎に食物はないだろうか」といいました。第一の王子は「虎の食物は温かい肉、それと熱い血だ」といいました。第二の王子は「この虎は、もうすぐ死ぬだろう。だから自分を犠牲にして虎を救おうとする者はないか」といいました。第三の王子は「私は生命と肉体にとらわれており知恵もない、だからそれはできないことだ。しかし、他人の利益のために、わが身を捨てることをいとわない者があれば、できないことではない」といいました。といつても、王子たちには何もすることができず。しばらく苦しむ虎を見ているだけでした。その時第三の王子は考え「そうだが身を捨てるのは今なのだ。肉体はたんなる糞袋にすぎない。今こそ、この肉体を他の利益のために使おう。そうすることによって、

今回は仏教ゆかりの食物の十二回目として、「にんじん」について紹介致します。「にんじん」の薬効と聞いて、すぐに思いつくのは「朝鮮にんじん」でしょう。しかし、「朝鮮にんじん」は高価であり、常食するとうわけにはいきません。しかし、八百屋に置かれている、普通の「にんじん」も栄養価の高い野菜で、緑黄色野菜の代表でもあります。

仏教ゆかりの食物「にんじん」

でも五葉のひるほどで、それ良く知られているところであり、漢方においても、「益あつて損なし」と高く評価されています。成分はビタミンA・B1・B2・C・E・カルシウム、それに、カロチンと呼ばれる色素を多量に含んでいるため、低血圧や貧血症によく効くとされています。特に、煮るとカロチンの吸収力がよくなります。

管理料

管理料の期間 は、後記の管理料専用口座にお振込下さい。未納の方は春彼岸までに納入されるようお願いいたします。多摩中央信用金庫 秋川支店 申しあげます。普通預金口座番号 17-151629 尚、管理料を振り込まれる場合

鐘楼移設

造成工事及び客殿建設工事の関係で、鐘楼を本堂裏、下墓地入り口付近に移設致しました。従って年末の除夜の鐘の行事は移設場所で行います。今年も良い年である事を祈願致しますので、初詣されるようご案内致します。

駐車場整備

一・二・六区墓地利用者のための駐車場が整備されます。昨年末に完成の予定で工事を始めましたが、若干新年に掛かるようです。